

181 待てば海路の日和あり

悪い状況でも、あせらずに待っていれば、そのうち良いことがあるということ。

182 丸い卵も切りようで四角

言い方ややり方次第で、物事がうまくいくこともあれば、喧嘩になってしまうこともあるということ。

183 ミイラ取りがミイラになる

相手を説得しようとしたのいつの間にか相手に同調してしまう。

184 身から出たさび

自分がしたことが原因で災難にあうこと。

185 見ざる聞かざる言わざる

自分に都合の悪いことや他人の欠点は、見ないふり、聞かないふりをして、余計なことはいわないようにすること。

186 三つ子の魂百まで

幼いころの性格は、一生変わらないということ。

187 実るほど頭の下がる稲穂かな

心の狭い人ほど偉そうにふるまい、優れた人物はむしろ控えめで、素直な態度でいること。

188 身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ

捨てる身の覚悟で物事にあたって、はじめて成し遂げることができるということ。

189 昔取った杵柄

昔身に付けた技量のこと。また、それが年を取ってからも衰えないこと。

190 無理が通れば道理引っ込む

理屈に反したことが世の中で通用するようになれば、逆に理屈の通った正義は行われなくなるということ。

191 目くそ鼻くそを笑う

自分も似たような欠点をもっていることに気づかずに、他人の欠点を笑うことのたとえ。

192 目の上のこぶ

自分よりも立場が上で、何かとじゃまで目障りな人のたとえ。

193 目は口ほどにものを言う

感情のこもった目つきは、言葉に出すのと同じくらい気持ちを表すものだ。

194 餅は餅屋

物事は専門家に任せるのが一番である。

195 元の木阿弥

努力や苦勞が無駄になってしまうこと。

196 物言えば唇寒し秋の風

余計な発言で災いを招く。人の悪口を言うと、何となく後味の悪い気持ちになる。

197 桃栗三年柿八年

物事を成し遂げるまでには時間がかかるものだということ。

198 門前の小僧習わぬ経を読む

常日頃接していることは自然と身につくものだ。

199 安物買いの銭失い

安物は品質の悪いものや使いにくいものが多く、すぐだめになるので、結局は損をしてしまうということ。

200 痩せの大食い

痩せているくせによく食べる人のこと。また、痩せている人には、案外大食いな人が多いということ。